

令和4年度全国学力・学習状況調査における柏市の調査結果の概要

柏市立教育研究所

実施の状況

対象；柏市立小学校第6学年 3650人

柏市立中学校第3学年 3329人

柏市の今年度の結果

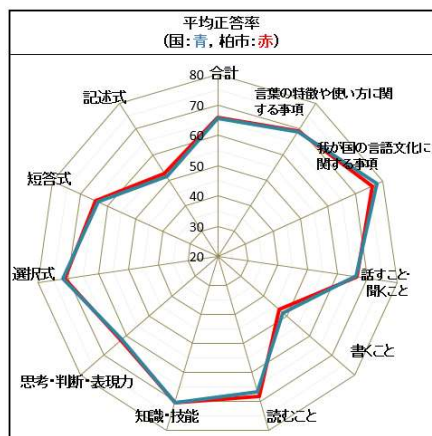
各調査の平均正答率及び標準化得点は下表のとおりです。

「標準化得点」とは、柏市の平均正答率を、全国平均正答率を100として換算した値です。標準化得点を見ると、調査年ごとの問題の難易度の差に関わらず全国と柏市の学力の状況を経年比較できます。

		小学校			中学校		
		国語	算数	理科	国語	数学	理科
全国 (R4)	平均正答率	65.6	63.2	63.3	69	51.4	49.3
柏市 (R4)	平均正答率	66	63	61	68	51	49
	標準化得点	100	100	99	100	100	99
柏市 (R3)	平均正答率	65	70		66	58	
	標準化得点	100	100		100	100	

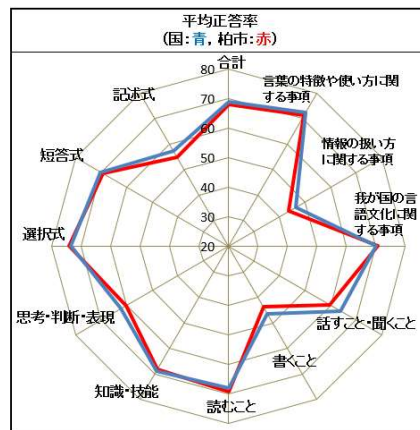
教科の傾向

【小学校 国語】



評価の観点※においては、全国と同等の数値となっている。「読むこと」の内容においては、全国平均正答率をやや上回り、「書くこと」の内容はやや下回った。記述式の問題は、全国平均正答率よりやや高く、無解答率は、ほぼ同程度だった。感想や意見交換から、文章の良さを見つけ、設問条件に沿って記述することに課題が見られた。

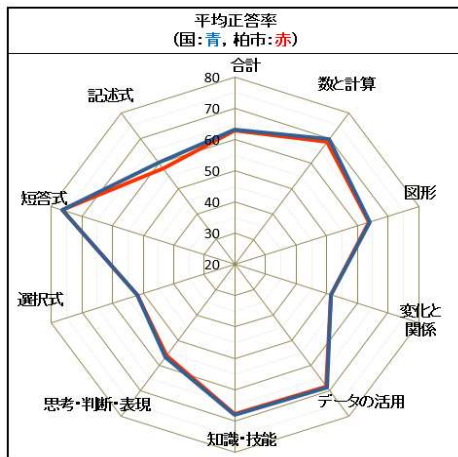
【中学校 国語】



評価の観点「思考・判断・表現」が全国平均正答率を下回っている。内容においては、「読むこと」が全国平均正答率をやや上回ったが、「話すこと・聞くこと」「書くこと」は下回った。登場人物の心情や作品の内容の理解はできているものの、自分の考えを表現する力及び、情報を的確に読み取る力や、根拠を明確にして書く力に課題が見られた。

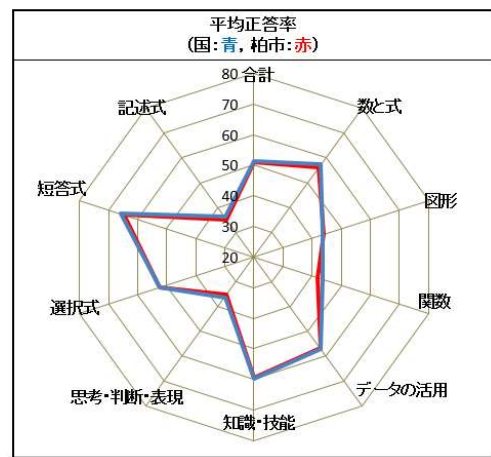
※評価の観点 子供に付けたい力を「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点から捉えたもの。全国学力・学習状況調査では、観点の性質上、2観点を評価している。

【小学校 算数】



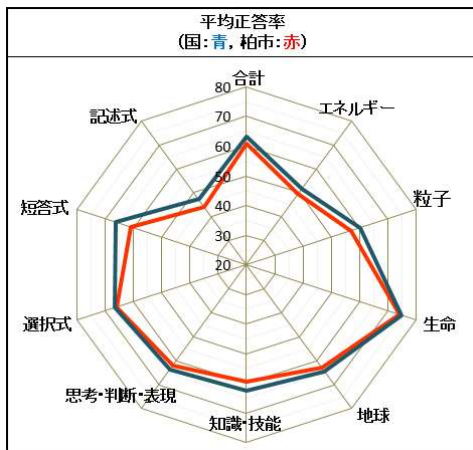
全国平均正答率を「数と計算」の領域は、やや下回った。その他の領域は、ほぼ同程度であった。「データの活用」では、基礎的なデータの読み取りができていた。記述式の問題は、全国平均正答率を下回った。割合に関する設問の正答率が依然低い。比例の関係を用いて、答えの求め方を式や言葉で説明することに課題が見られた。

【中学校 数学】



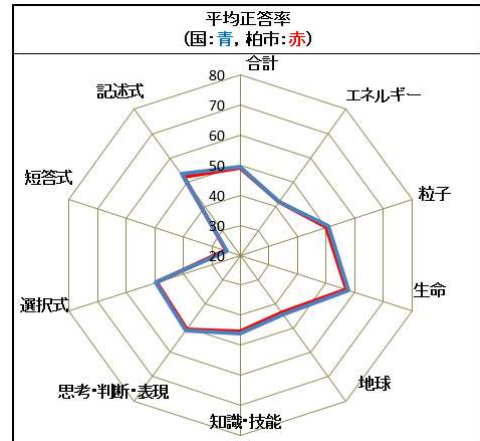
思考力を問う全ての問題において、全国値同様に平均正答率50%を大きく下回った。記述式問題における無解答率の平均が全国に対して2.3%も高く、問題解決の方法を数学的に説明することに課題がある。確率の問題では、平成26年度の類題の正答率を4.8%上回り、確率の理解についての改善が見られた。

【小学校 理科】



短答式、記述式の設問は、全国平均正答率を下回ったが、選択式においてはほぼ同等の結果だった。提示された資料を複数の視点で分析して解釈する設問において、差異点や共通点を見出すことはできていた。自然現象や他者の考えをもとに新たな問題や疑問を見つけ出すことに課題が見られた。

【中学校 理科】

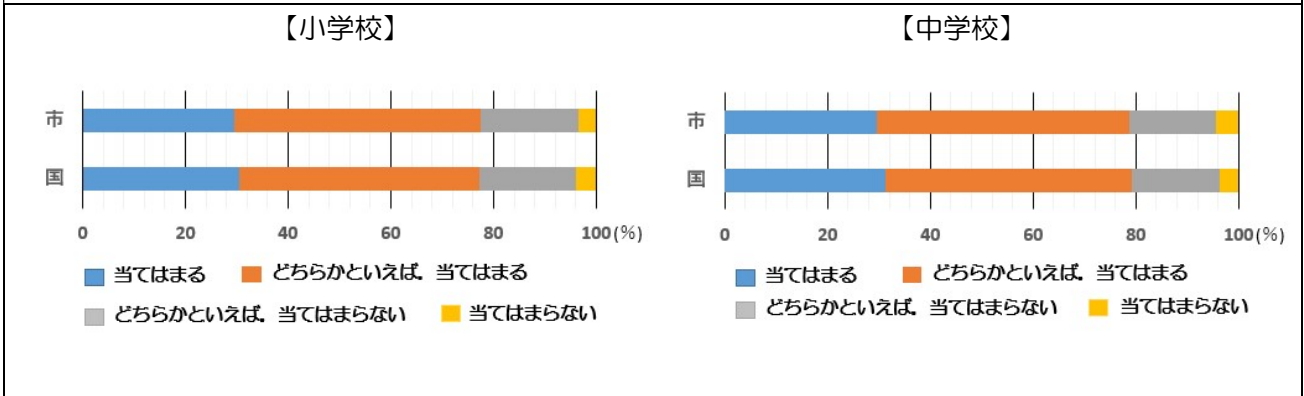


記述式の設問は全国平均正答率をやや下回った。その他の問題形式、観点、領域については全国平均正答率とほぼ同等の結果だった。理科全体の平均正答率は、全国値同様に前回より大幅に落ちて50%を下回った。図や表を基に、情報を正しく読み取って観察したり、実験の方法を考察したりすることはできていた。

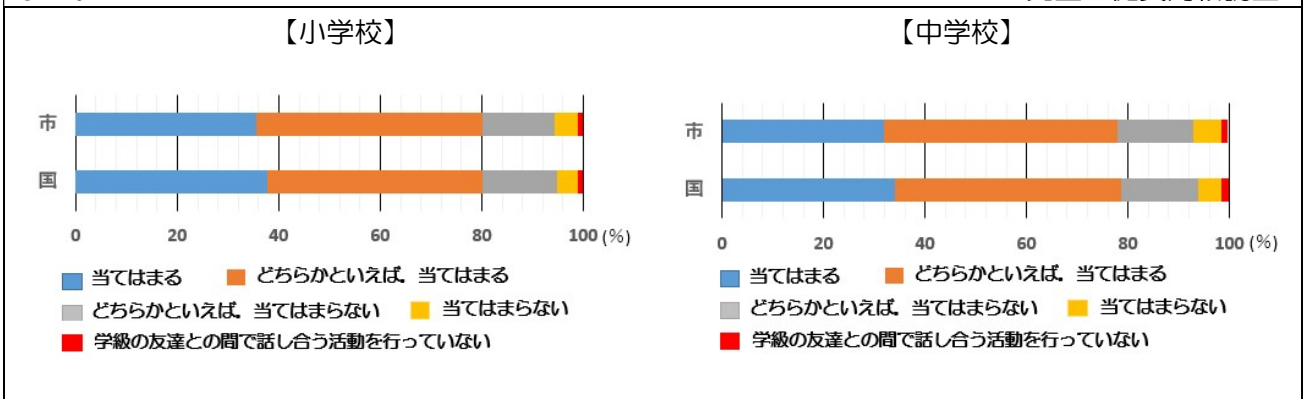
◆主体的・対話的で深い学びの視点による学習への取組状況等

学びに向かう姿勢について、肯定的な回答をしている割合は、国と比較してほぼ同程度となっており、良好な状況です。各学校においては、校内研修の機会と充実を図り、主体的・対話的で深い学びに向けた授業づくりに努めています。

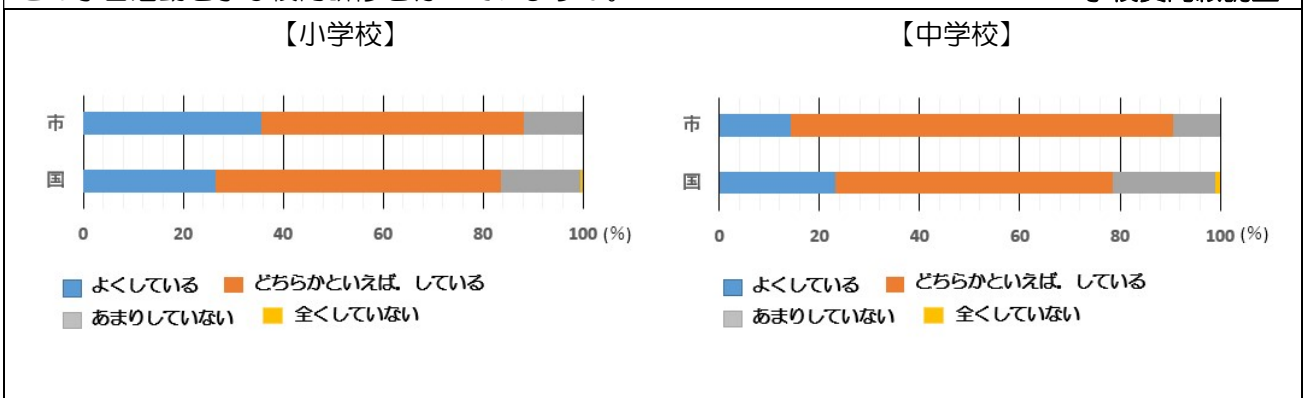
5年生（中学校1，2年生）までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。 児童生徒質問紙調査



学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。 児童生徒質問紙調査



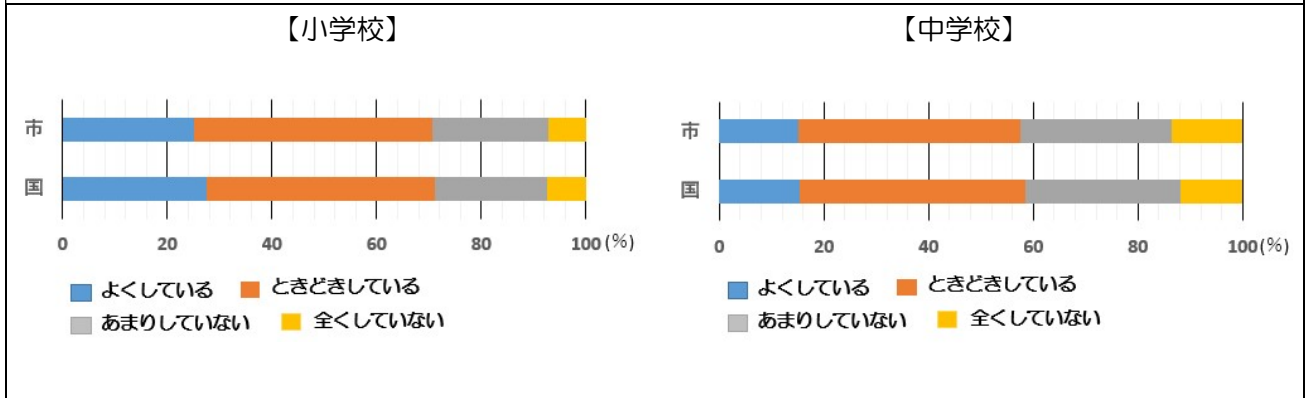
児童（生徒）自らが学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っていますか。 学校質問紙調査



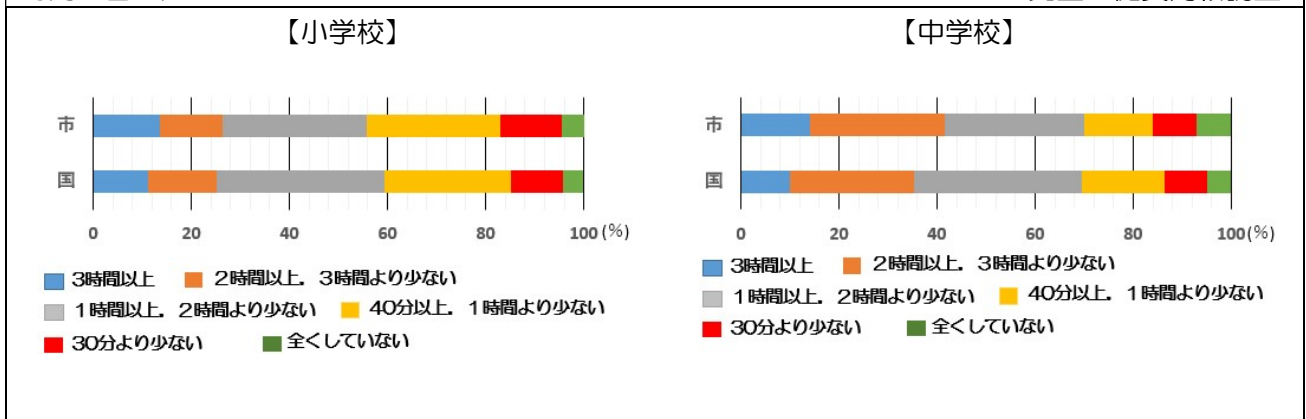
◆家庭学習への取組状況

柏市の児童生徒の自分で計画を立てて勉強している割合は、国と比較してほぼ同程度です。また、2時間以上家庭学習をしている割合は、小学生は国と同程度、中学生は多い傾向が見られます。

家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。(学校の授業の予習や復習を含む) 児童生徒質問紙調査



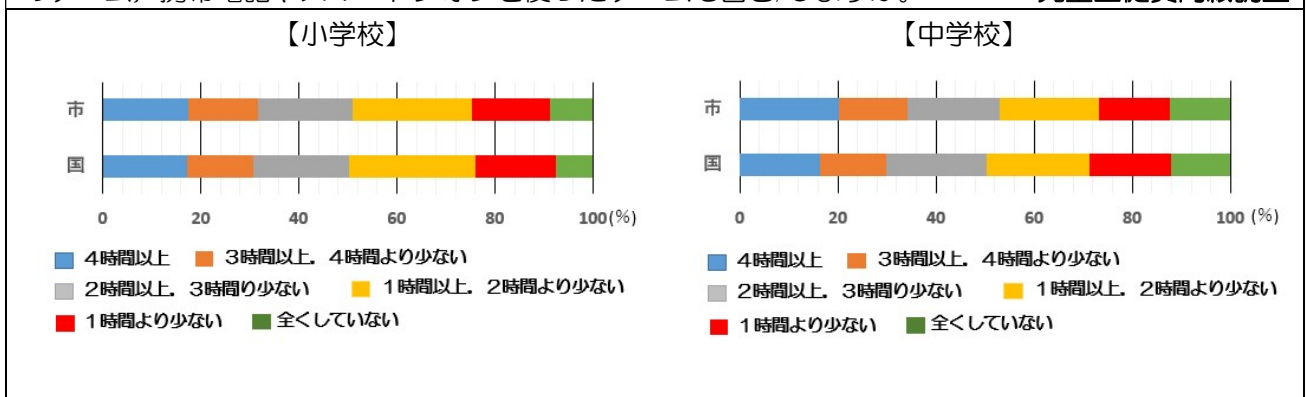
学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む) 児童生徒質問紙調査



◆生活習慣等

デジタルメディアに毎日2時間以上接している小学生・中学生が半数近くいます。4時間を超える子供も2割近くいました。

普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか。 児童生徒質問紙調査

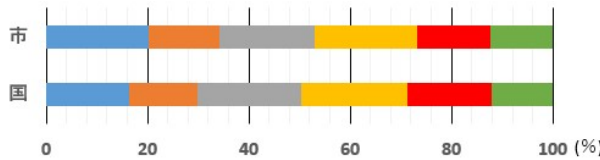
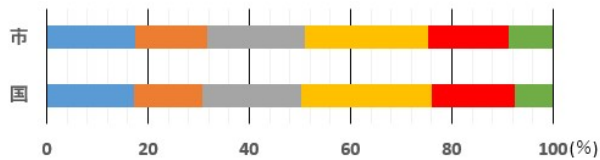


普段（月曜日から金曜日），1日当たりどれくらいの時間，携帯電話やスマートフォンで SNS や動画視聴などをしますか。（携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く）

児童生徒質問紙調査

【小学校】

【中学校】



■ 4時間以上 ■ 3時間以上, 4時間より少ない
■ 2時間以上, 3時間より少ない ■ 1時間以上, 2時間より少ない
■ 1時間より少ない ■ 全くしていない

■ 4時間以上 ■ 3時間以上, 4時間より少ない
■ 2時間以上, 3時間より少ない ■ 1時間以上, 2時間より少ない
■ 1時間より少ない ■ 全くしていない

◆自己有用感等

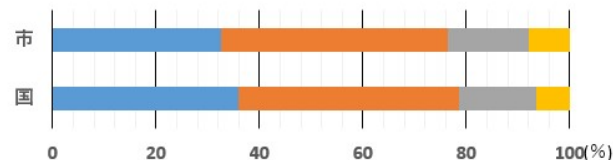
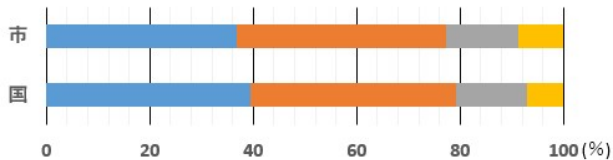
全国値とほぼ同等の結果です。他者や集団との関係の中で，児童生徒自身が自分に自信をもって生き生きと生活できるよう，自己有用感を高める取組に努めています。

自分には，よいところがあると思いますか。

児童生徒質問紙調査

【小学校】

【中学校】



■ 当てはまる ■ どちらかといえば, 当てはまる
■ どちらかといえば, 当てはまらない ■ 当てはまらない

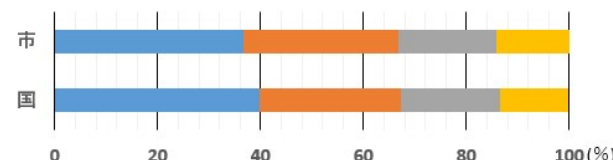
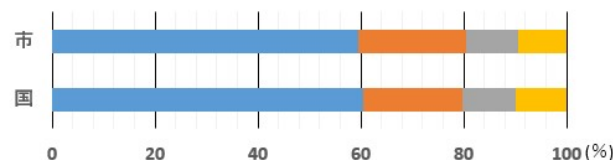
■ 当てはまる ■ どちらかといえば, 当てはまる
■ どちらかといえば, 当てはまらない ■ 当てはまらない

将来の夢や目標を持っていますか。

児童生徒質問紙調査

【小学校】

【中学校】



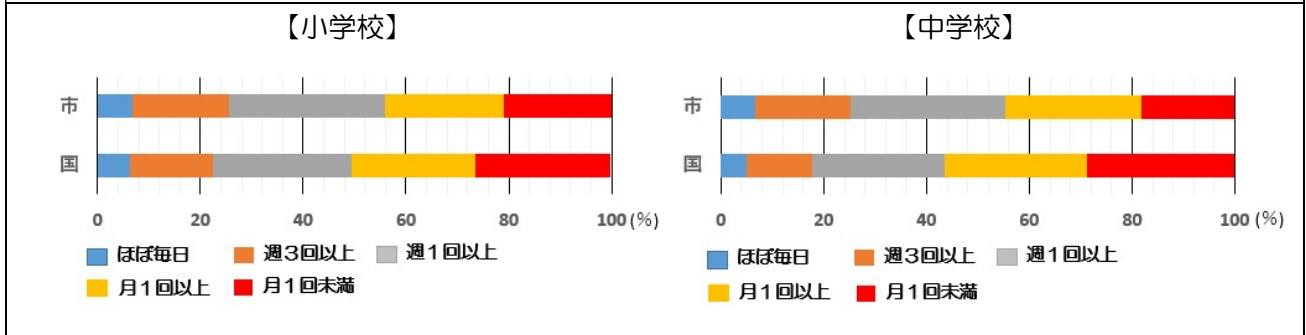
■ 当てはまる ■ どちらかといえば, 当てはまる
■ どちらかといえば, 当てはまらない ■ 当てはまらない

■ 当てはまる ■ どちらかといえば, 当てはまる
■ どちらかといえば, 当てはまらない ■ 当てはまらない

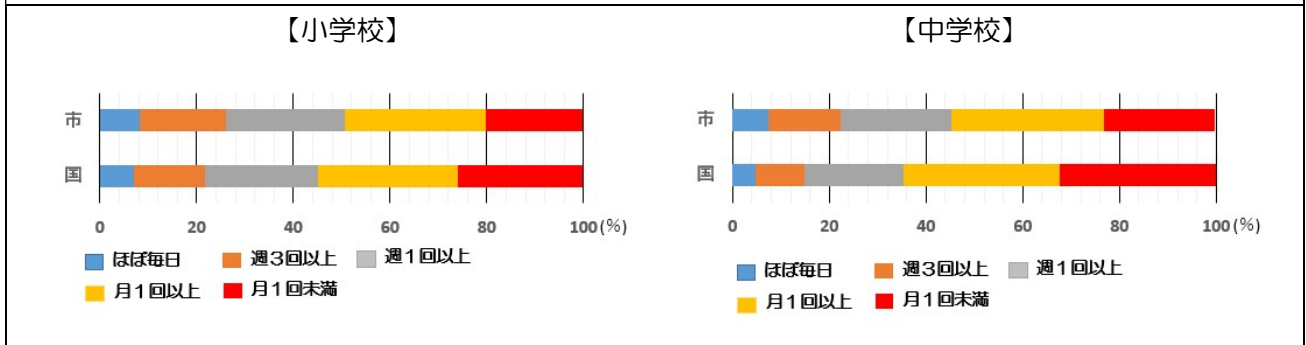
◆ICT を活用した学習状況

友達との意見交換や発表する場面での ICT の使用率は、全国より良好な状況にあります。ICT 機器の利点を生かし、子供たちが理解しやすい授業実践と、学習への意欲向上につなげています。

学校で、学級の友達(生徒)と意見を交換する場面で、PC・タブレットなどの ICT 機器を、どの程度使っていますか。 児童生徒質問紙調査



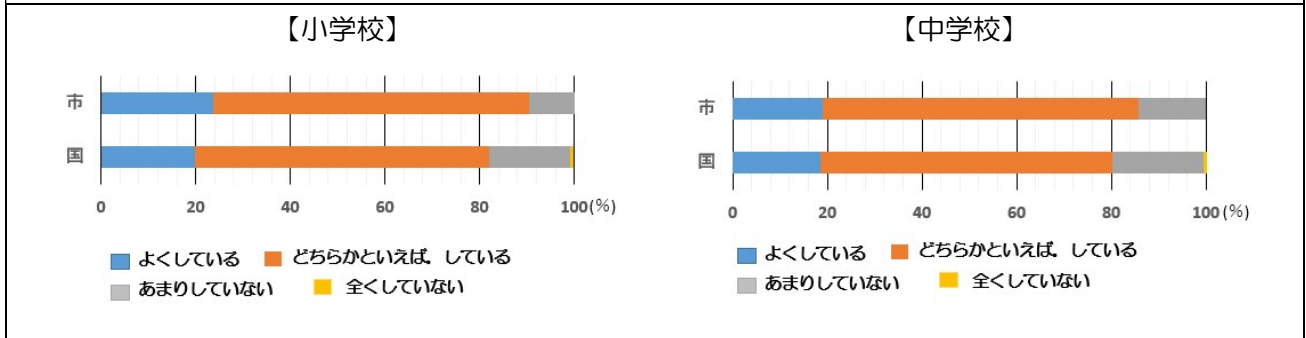
学校で、自分の考えをまとめ、発表する場面で、PC・タブレットなどの ICT 機器を、どの程度使っていますか。 児童生徒質問紙調査



◆家庭や地域との連携

柏市のコミュニティ・スクールは、地域ごとに漸次進んでいます。家庭や地域の教育力を活かした活動の充実や地域人材の活用を行い、積極的な学校公開と情報公開などを通して、地域とともにある学校づくりを柏市として進めていきます。

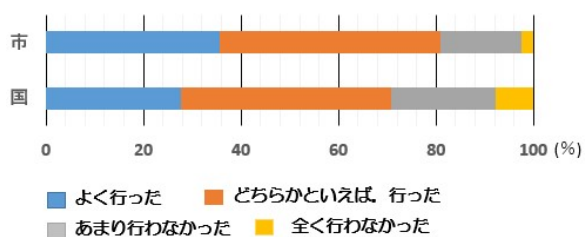
教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組をしていますか 学校質問紙調査



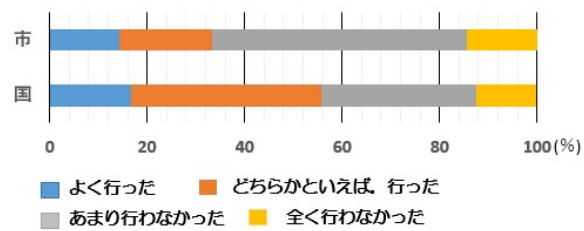
地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、保護者や地域の人との協働による活動を行いましたか。

学校質問紙調査

【小学校】



【中学校】



※ 全国学力・学習状況調査の分析結果について

本調査は必ずしも過去の学習内容全体を網羅するものではなく、把握できるのは、あくまでも個々の学力の特定の一部であることを申し添えます。